

人材養成等教育研究に係る目的

経営学部には教育上の「6つの使命（Mission）」がある。この6つの使命では、経営学部の学生を育成する方針が示されている。それは以下の6つである。

- (1) 「協力による問題解決、企業経営を主導できるビジネス・リーダーの育成」
- (2) 「社会のあり方に対し、ビジョンを持つビジネス・リーダーの育成」
- (3) 「倫理に基づいて、信頼できる企業市民としての企業活動を実現できるビジネス・リーダーの育成」
- (4) 「グローバル・ローカル双方の視点を持つビジネス・リーダーの育成」
- (5) 「起業家精神を持って、広く社会へ貢献できるビジネス・リーダーの育成」
- (6) 「自然環境を尊重し、企業と社会の持続的成長を実現できるビジネス・リーダーの育成」

カリキュラム作成は、以下の4つの方針に基づいている。

- (1) 豊かな教養と幅広い基礎知識、基礎的な学習能力を身につけるため、全学共通科目群として「ユニバーシティ・スタンダード科目群」を設置する。「ユニバーシティ・スタンダード科目群」は、「玉川教育・FYE科目群」「人文科学科目群」「社会科学科目群」「自然科学科目群」「言語表現科目群」「学際科目群」の6つの科目群から構成する。
- (2) 専門科目群については、体系的に学習できるよう「導入科目群」「発展科目群」「専攻科目群」の3群で構成する。
 - a. 導入科目群
入門の意味合いを持つ科目群であり、「経済学Ⅰ」「経営の数学」等の基礎的必修科目と選択科目の「キャリアデザイン」科目から構成される。
 - b. 発展科目群
導入科目群に引き続いて学ぶ専門性の高い科目群である。選択科目ではあるが、科目の学習を通じて、問題の発見及び解決の能力を養い、卒業後の進路を見据えて幅広く、かつ奥行の深い専門知識を身に付けさせる。
 - c. 専攻科目群
学士課程教育における研究実践を完成させるため、経営学の専門分野ごとに、5つのコースが設置され、選択したコースに必修科目が配置されている。この必修科目以外は、コース科目を補完する選択科目として配置されている。
- (3) 自由選択科目として、10単位以上の科目を配置する。これらの科目は、コース科目補完と興味・関心に応じて履修できる。
- (4) グローバル化した企業で活躍できる人材を養成するにあたり、国際共通言語である英語運用能力の向上を図る。そのために英語関連科目を配置する。

ミッションとカリキュラム方針に基づき、経営学部で学ぶことで、卒業時点で以下のような人材になることができる。

国際経営学科では、倫理観を持ち、科学的な視点を持って、国際的に活躍できるビジネスリーダーになることができる。特に5つの専門分野についての体系的知識を備えた経営の専門家になることができる。

ディプロマ・ポリシー

- ①企業経営について、基礎的学問分野の知識を身に付け、経営上の問題を多面的に分析することができる。
- ②グローバルな変化から生まれる経営上の問題を解決するために、他者と協力して問題解決ができる。
- ③グローバル・ローカル双方の視点から、社会と企業経営に関心を持つことができる。
- ④社会のあり方に対し、起業家精神とビジョンをもち、また高い倫理観を持って、企業と社会の持続的成長を追求する姿勢を持つことができる。
- ⑤経営学の各専門分野で、経営上の問題を分析し、解決策を提示できる能力を習得している。